

## 第2回 水木しげる記念館再整備基本構想・基本計画検討委員会

- ◆日時 令和3年11月29日(月) 15:00~16:30
- ◆場所 境港商工会議所3階大会議室(※一部オンライン)
- ◆議事概要 以下のとおり

### 3. 説明事項

#### 【説明】

●今回の資料はあくまで素案であり、委員からの意見を入れ込み基本構想・基本計画をまとめていく。

### 4. 検討事項

#### 【質疑・意見】

#### <①基本理念等の振り返り>

- ・ マニアの方も、子どもたちも双方が満足できる施設を目指したい。
- ・ 子どもが楽しみながら、妖怪や境港に関することを学び、最終的にまた来たいと思ってもらえることが大事。
- ・ 何度も訪れて楽しめるようなコンセプトが大切。
- ・ 各施設がバラバラではなく、連携し、水木しげるロード内の施設としての見方ができるようになるとより良い。
- ・ 水木先生ファンだけでなく、子どもたちが妖怪や戦争体験について学べる施設となることも重要。

#### <②事業活動>

- ・ 収蔵に力を入れてほしい。人員の配置がポイントとなる。
- ・ デジタルを上手に使って、資料保管や展示をしていただきたい。
- ・ 各種事業を検討するために、既に行っている活動の一覧表をカレンダー形式で示していただきたい。
- ・ ロードのスタンプラリーは非常に人気。もう少し表に出してはどうか。
- ・ テーマパーク性に重きを置き、お化け屋敷のような要素を取り入れていただきたい。
- ・ 再整備後も、小さい変更が加えられるようにできたら良い。
- ・ デジタル技術を駆使した場も取り入れてほしい。
- ・ 文字の展示が多く子どもはわかりにくい。音声や動画の展示を取り入れ、わかりやすい展示をしていただきたい。
- ・ 中海・宍道湖・大山圏域を巻き込んでイベントを仕掛け、市域・周辺地域とともにおもてなしをし、国内外からの集客・リピート利用につなげていけると良い。
- ・ 記載されている事業計画案が全て実現できれば理想的な施設となると思うが、各活動について、記念館・ロード・それ以外で担うことを明確に書き分けていただきたい。

- ・ 市民の利用としては、建設中の交流センターがメインになると思う。記念館の目的は観光が主体。市民利用と観光施設としての機能を整理したほうが良い。
- ・ 総論的なことが書いてあるため、あり方検討会の時の話と少し違う印象を持った。「これぞ水木しげる記念館」といった特徴が出ると良い。
- ・ 館内で貴重な資料を取り扱うかどうかについては、今後の協議で考えていければよいが、今後、資料を取り扱う方針になった際には、それらを収蔵する収蔵庫、管理する学芸員をセットで検討すること。
- ・ 限られたスペースでできることを整理し、それぞれの魅力が失われないように検討していただきたい。
- ・ 資料を一時的に借りる「保管」か、市で購入し「収蔵」するのか。収蔵となると場所・人に求められるレベルがかなり上がってくる。
- ・ ファン・サポーターは、個人だけではなく企業も含めて募るように工夫していただきたい。

○[事務局]

- ・ 展示に関して、水木プロと相談しながら検討を進める。

<③諸室・スペース>

- ・ 周辺地域の人に来ていただくために、交流できる場を設けていただきたい。
- ・ 建物の上の方から港や島根半島が見えるようにして、水木先生の原点を感じられるような計画を考えていただきたい。
- ・ コロナ収束後は団体客が多くなるため、修学旅行団体等を受け入れるスペースがあることはとても良い。
- ・ イベント時は、前庭にたくさんの人が集まり、狭く感じる。座れるスペース等も整備していただきたい。
- ・ 多目的スペースや交流体験スペース等、具体的にどのように使うか検討するべき。
- ・ 市民が気軽に使えるスペースとして想定されているが、繁忙期には混雑し、市民の利用が制限される場合もあると考えられる。
- ・ 検討している諸室を盛り込むとなると、かなりのスペースが必要となる。諸室が増えることで常設展示のスペースが狭くなるのではないかと心配。
- ・ 隣接地の活用について状況お聞かせいただきたい。
- ・ 隣接地の活用について、現段階では「周辺スペースの利活用も今後検討」と注記として盛り込むかたちとしていただきたい。

○[事務局]

- ・ 隣接地の活用について、今後、収支計画等を踏まえ検討を行う。
- ・ スペースのあり方に関して、記念館とそれ以外で担う役割を整理する。

<④管理運営の考え方>

- ・ 水木しげるロードやブロンズ像と上手に連携させながら、水木しげる記念館の運営を考えていく必要がある。
- ・ 妖怪の世界観を体感するために、イベント時等に、夜に開館することも必要。
- ・ 入館料の値上げを検討してはどうか。拡大した収入は、過去の来館者への情報発信やファンづくり、ブランディング、広告、人材の安定雇用、企画・イベントの充実等への活用が考えられる。
- ・ 魅力的な展示のためには、運営ノウハウだけではなく、作品を理解することも重要。

<その他>

- ・ 駐車場から施設まで遠く、どのように施設まで来ていただくか考える必要がある。
- ・ 繁忙期（ゴールデンウィークとお盆）を理解しながら計画していただきたい。
- ・ 水木しげるロードの人々とその周辺の人々では意見が全く違うことを理解することが必要。
- ・ 施設回り・ロードの案内を含めて、サイン計画を立てることが必要。
- ・ 夜にロードを歩く人々に、外からみて記念館の特徴がわかる仕掛けを取り入れていただきたい。
- ・ みなとさかい交流館2階の展示スペースの検討が始まっている。みなとさかい交流館と水木しげる記念館は始点と終点の関係性のため、連携して計画を進めていただきたい。
- ・ 水木しげるロードに関係が薄い市民の方々がどのようなことを求めているのかわからない部分がある。市民の方々にもアプローチをしていただきたい。
- ・ 海とくらしの史料館の検討委員会では、拠点をひとつにして境港の観光のPRをする意見もあった。
- ・ 水木しげるロードのマップや来訪者数のグラフ等も資料として載せられると良い。

○[事務局]

- ・ 市民への意見聴取としてパブリックコメント等を予定している。
- ・ 地域の人々が水木先生や妖怪を学ぶきっかけとして、市内小学校で妖怪に関する授業を行う妖怪文化伝承事業を来月から実施予定。